

栃木県原水協ニュース

N o 1 8 0 号 2 0 1 8 年 7 月 3 日
 原水爆禁止栃木県協議会
 〒 321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30
 栃木県労連気付 電話 028-653-1401
 メールアドレス : tcgken-gensuikyo@outlook.jp

2018年国民平和大行進 分灯式 福島から栃木へ

原爆の残り火分灯式

6月30日、さくら市の東輪寺で、「原爆の残り火」の分灯式が、60数名の参加で行われました。また、当会場にて檀家の方々により「ヒバクシャ国際署名」もとり組まれました。今年で14回目を迎える当式では、平和への思いを込めた御詠歌が歌われ、人見住職から、通し行進者や悲惨な戦争を体験された方々を紹介し、その礼をねぎらい、平和の大切さについてお話をいただきました。

最後に、栃木県平和行進実行委員長の天谷さんより、核兵器禁止条約締結後の国際情勢、「ヒバクシャ国際署名」の推進と「世界平和の実現は一人ひとりの心の中に平和の祈りの火を灯すこと。この原爆の残り火を先頭に元氣いっぱい歩いて市民にアピールしたい」と国民平和大行進と原水爆禁止世界大会成功をめざす決意が述べられました。

当日は、県内高校の放送部員数名により分灯式の様子を熱心に取材をしていただきました。



平和行進県内スタート

6月30日、福島県から栃木県へ「2018年国民平和大行進」(北海道←東京コース)が引き継がれました。

午後二時から、炎天下の那須町、ラーメン亭駐車場で、福島県から栃木県への引き継ぎ式が90余名の参加で行われました。栃木の参加者による歌声で福島の行進団を迎えました。福島の実行委員長あいさつにつづき、北海道礼文島から東京へ通し行進する栖原秀夫さんより、



「歩くことと大きな声を出すことが大好きです。にぎやかに太鼓をたたき、頑張って歩くのでよろしく」と挨拶と決意が述べられました。

リレー横断幕や各種団体旗が栃木県側に引き渡されて、2週間にもわたる栃木県内の国民平和大行進がスタートしました。午後三時から、那須町役場へ移動して、梅雨明けの熱い太陽の照りつける中、本県の国民平和大行進の第一歩が力強く踏み出されました。

この日は二〇数名の参加で、東輪寺より分灯された「原爆の残り火」を先頭に、「核兵器はいらない」などと大きな声で訴えながら町の中を行進しました。事前にチラシを千枚まいておいた効果もあって、沿道では手を振って激励してくれる人たちもいて、大いに元気を頂きました。



(福島から栃木へ引き継ぎ式)



(栃木県内行進スタート 那須町役場前)

「ヒバクシャ国際署名」数 (6/30現在)

諸団体	県北原水協	2, 204筆
	県南原水協	102筆
	宇都宮市原水協	1, 154筆
	非核の会	128筆
	新婦人の会	7, 318筆
	民医連	1, 817筆
	保険医協会	291筆
	県原水協	134筆
	小山推進委員会	110筆
	非核下野市の会	264筆
自治体	県労連	23筆
	日光市	953筆
	下野市	238筆
	栃木市	81筆
	小山市	40筆
合 計	上 三 川	160筆
		15, 017筆

芳賀郡市原水協学校を開催



6月17日、芳賀原水協は「原水協学校」を参加者10数人で開催しました。天谷静雄県原水協代表委員が世界大会パンフ活用し、核兵器禁止条約が切りひらく未来、朝鮮半島、ヒバクシャ国際署名の取り組みなどで学習しました。

芳賀原水協は国民平和大行進や世界大会へ代表派遣を地域で成功させようと確認をしました。

◆ 平和の鐘をつく集い

日時：8月6日(月)午前8時から・8月9日(水)午前11時から
 会場：さくら市 東輪寺